



夏休み前に借りた本の返却をお願いします

楽しい夏休みもおわりました。

夏休み前に借りた本は 9 月 5 日(金)までに返却してください。

紛失・汚損をした場合は、必ず図書館に申し出てください。

新書月間を終えて

7 月は新書月間でした。新書はテーマごと、章ごとに分かれていますので忙しい高校生でも読みやすい本です。

みなさんからたくさんの感想が届いていますので紹介します。今回読んだ新書の感想を友だちと共有し、これからも新書を読んでみましょう。

1 年生 S さんの感想



『対話をデザインする』細川英雄 著

実際に公共の時間に、おしゃべりと対話の違いについて自分たちで考えたあとにこの「対話」についての新書を読んだので、自分が思っていた対話の意味とこの新書で示されている対話の意味が違って、対話という人とのコミュニケーションを取る行動は色々な意味を持っていることを知れた。

1 年生 T さんの感想



『問の立て方』宮野公樹 著

「問い」は普通に作るだけでいいかと思っていたが、いろいろな観点から「いい問い」とは何か、「いい問い」にする方法は何かなど、LP で役立ちそうな知識がたくさん書いてあった。意見や考えは様々な観点を通してできていると知った。「問い」を立てることは簡単そうで意外と難しいとわかったので、授業や LP で活かしていきたい。

1 年生 M さんの感想



『論破力』ひろゆき 著

著者の言う「論破力」とは「説得力のある話し方」。人生上手いことが目的であって、論破力はいくらでもその手段である。その場で相手をやりこめたところで、実は何の意味もない。論破力を使って周りの環境を変えるのも一つの手だが、そういった武器をあえて使わないことで心の余裕が増えたりする。議論の面白さは必ずしも勝つことにあるのではなく、自分の知らない事実や想像もできない考えを知ることだ。

1 年生 Y さんの感想



『赤ちゃんはことばをどう学ぶのか』針生悦子 著

赤ちゃんが言葉を使えるようになるまでの過程が不思議だったので、この本を読んで理解することができた。赤ちゃんは喋れないときから言葉を学んでいて、発声を身に付けてからやっと少しずつ会話ができるようになるという流れを知った。

私も赤ちゃんに負けずに力を身に付けたい。

2 年生 Y さんの感想



『学力喪失』今井むつみ 著

様々な研究や実験の話が書いてあり、それらを読んでいく中で幼児の自己学習能力の高さを詳しく知ることができた。また、なぜ多くの子どもが算数や文章読解に苦戦しているのかを、より理解することができ、さらに自分の小学生の頃思い出しながら根本的な問題を認知できて感動した。

2 年生 S さんの感想



『第三次世界大戦 日本はこうなる』池上彰 著

僕は第三次世界大戦がもうすぐそこまで来ているんじゃないかと思った。ロシアのウクライナ侵攻やガザ問題、東シナ問題など火種となりそうな争いがすでにいくつもあるからだ。また日本にはアメリカ軍基地があるため戦争が始まった場合、巻き込まれる可能性が高い。そのため他国との関係を改善すべきだと思った。

新書感想

2年生Iさんの感想



『バツタを倒してアフリカへ』前野ウルド浩太郎 著
著者のバツタに対する情熱がすごいなと感じた。蝗害など深刻な問題になっているサバクトビバッタの群れに、緑色の前身タイツという奇想天外な格好で立ち向かう著者の姿には、驚きの気持ちでいっぱいだった。

2年生Nさんの感想



『介護保険 地域格差を考える』中井清美 著
地域による介護サービスの格差があるという実態を知ることができた。また、背景には各自治体の財源や人材の能力などが深く関わっていることを理解することができた。
あまり新書を読む機会が無かったので、新書月間はいきっかけになりました。今後は他の内容の新書も読んでみようと思った。

3年生Yさんの感想



『ネット王子とケータイ姫』香山リカ、森健 著
最近小学校低学年の子どもたちでもスマホを持っている。SNSは面白いコンテンツもある半面、簡単に見知らぬ人と会話できてしまったり、動画の投稿ができたりしてしまうので、きちんと何をしてよくて、何をしたらダメなのかを意識させることが大切だと思った。インターネット間のトラブルも増加しているので、どう対策すれば減らせるのか考えていく必要がある。

3年生Nさんの感想



『しぐさでわかるイヌ語大百科』西川文二 著
犬を育てたことはないが犬の反応やしぐさにはちゃんと意味があることが分かった。犬は興奮しているときやストレスがかかっているとクシャミをするから、そういうしぐさで犬の体調の変化を読み取れるようになりたい。ある程度犬の心理状況を知ることができて、とても勉強になった。

1学期に多く借りられた本

1学期は、1年生を中心にたくさんの生徒が本を借りに来てくれました。図書館の本の中で、1学期に多く借りられた本を紹介します！

	タイトル／著者／出版社	あらすじ	請求記号
	薬屋のひとりごと [1] ／日向 夏／主婦の友社	中世のとある東洋の大国。花街で薬師をしていた少女・猫猫は、ひょんなことから後宮で下女として働くことに。だがやがて、皇帝の寵妃の「毒見役」に抜擢され…。大人気痛快ミステリー！	913/ヒ /1
	DORAEMON セレクション5 ／藤子・F・不二雄／小学館	ドラえもんのまんがを楽しく読みながら、正しい英語表現が学べるイングリッシュ・コミックス。コマの外に日本語も掲載。セレクション5は、「人間製造器」「のろいカメラ」など、こわい話を収録。	726/ フ/5
	天久鷹央の推理カルテ 5／知念実希人／新潮社	「若返り」の治療を受け、外見が20歳以上も変わった女性。白血病が再発し、「預言者」に継った少女。「神秘」に潜む真実を、天才女医・天久鷹央が解き明かす医療ミステリー。書き下ろし掌編「詐欺師と小鳥遊」も収録。	913/ チ/5
	まだ見ぬ春も、君の なりで笑っていたい／ 汐見夏衛／スターツ出版	毎日を楽しんでいるように見える遙だが、恋も友情も親との関係もうまくいかず、もがいていた。そんな時、声が出ない男の子・天音と出会い…。「だから私は、明日のきみを描く」のスピノフ。	913 / シ
	闇バイト 悪化する若 者のリアル／廣末登／ 祥伝社	一度入ったら抜けられない、取り返しがつかない破滅への一方通行である闇バイト。非行経験のある犯罪学者が当事者たちを取材。闇バイトを取り仕切る半グレや犯人の更生に従事する保護観察官の声から見えてくる、その真実とは。	368/ ヒ